

遊休農地の活用事例

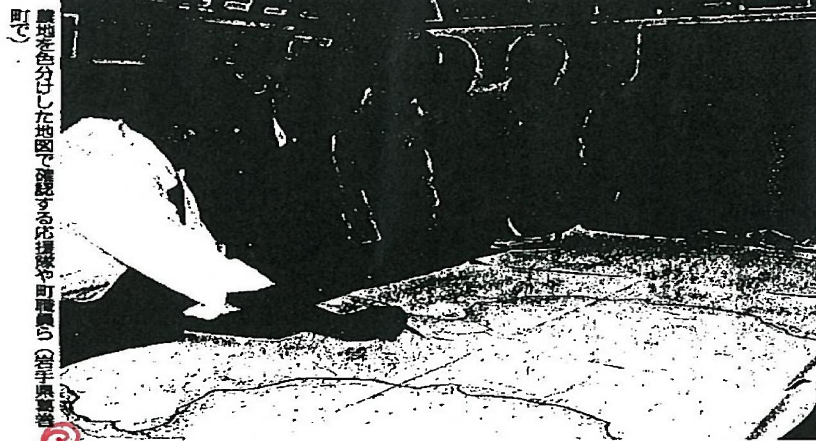
中山間地域を特定し集中的に複数の遊休農地を活用する取組
大仙市土川地区（中間農業地域）

H27調査 団地名： 半道寺、西神旧2区、方角沢西、方角沢東、小方角沢、荷坂
計 6団地 26.9ha

H28調査 団地名： 大野

平成 29 年 9 月 13 日
公益社団法人 秋田県農業公社

中山間地 農地バンクに着々集積



農地を色分けした地図で確認する応援隊や町職員ら(岩手県奥州市で)

岩手県は、条件不利地の農地集積を進めるために「中山間地援隊」を結成し、3年間で農地中間管理機構(農地集積バンク)に1800haを集積し、担い手に貸し付けた。受け手確保のために、集積だけでなく作業環境の向上なども支援する。秋田県の農地集積バンク事業を担う農地集積バンク事業を担う農地集積バンクは、中山間地域対策チームを運び、規模拡大を志向する法人の情報を含め、受け手確保につなげる。現時点で法人に34社を集積した。(目影新造、水澤潤也)

現場対応きめ細かく

岩手 作業環境改善も 秋田 法人に経営提案

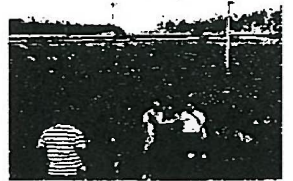
岩手県の応援隊は、14年度に発足。県の出先機関の職員約50人を隊員に任命し、現場に派遣する。農地集積は市町村、農地集積バンクに集積。地区内外の酪農家に貸し付けた。当初、農地の受け手となっていた地区内の酪農家が離農を決め、危機感が鋭くなった。休耕状態だった別の農地と合わせて、応援隊は農地集積に着手した。農地をまとめ、受け手が効率よく使える環境づくりを重視する。地区単位で農地集積バンクに貸し出した。地図を使い、対象農地に色を付けて受け手の候補に集約のイメージを提示。受け手の確保に努めた。県は「市町村は農地集積に手が回らないことも多い。そういう現場に人を送り込み、集積に必要な仕掛けをしていく」と(農地集積バンク)と話す。

秋田県の対策チームは、公社職員7人で構成し、16年度に活動を開始した。農地集積バンクの集積は、農地集積バンクから情報提供を受け、農地の手まわり具合などを考慮し、受け手確保を支援する農地集積バンクに集積。法人協会と連携し規模拡大を考える法人を探す。大仙市では市農地集積バンクからの依頼で、地区内で受け手が見つからなかった4社の集積を支援。加工用タイコンを作付けする農地を探していた市内平たん部の法人に貸し付けた。遊休化していたが、土壌は黒ボク土で時勢に向いていることを法人に説明し集積を促した。

「農地では、水田24haを引き受けていた個人農家が休農を願う。遊休農地になる恐れがあることを町農地集積バンクが公社に相談。チームは町内や周辺市町村で受け手候補を探し、規模拡大を目指していた大湯村の法人を見つけた。西法人とも連携して車で片道1時間ほどかかる。

2 茶を観光の目玉に

韓国・済州島は茶園や博物館などで「お茶島」をPR。年間100万が訪れる観光地となり、業振興にも結び付けた。



3 ネットで日本産食材

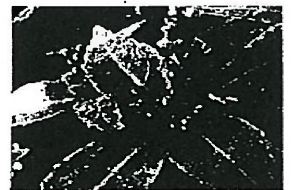
農水省は、海外の日本レストランが日本産食材調達できるサイトを今夏も立ち上げ、農林水産物出促進につなげる考えだ。

5 ご当地グルメが結果

9 農村学は「農地集積」

【解説】地域共助に「A」の力

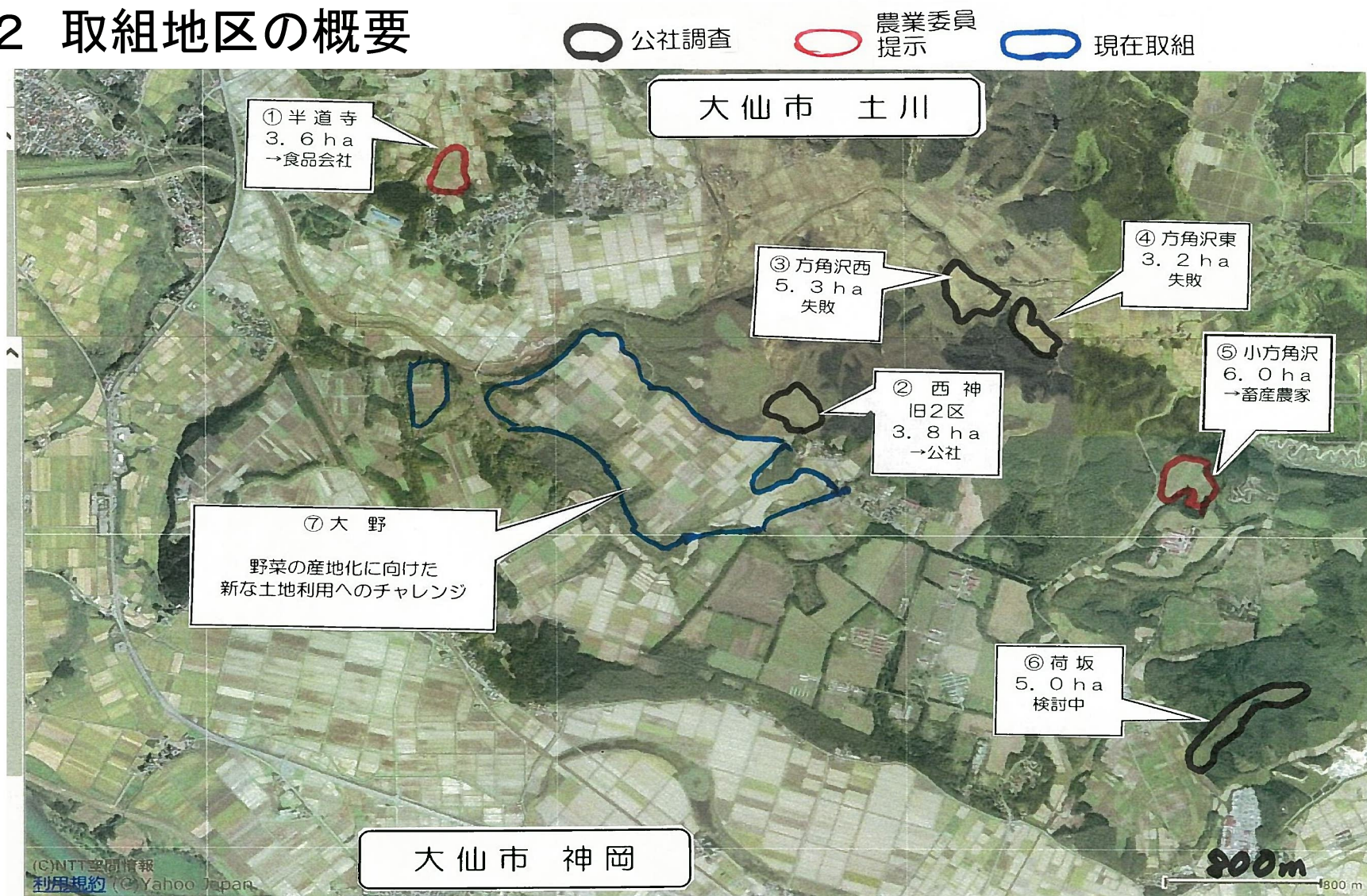
テレビ8面



野の、つる、れ、特、言、う、は

る。だが、程度遅らせ、も雇用努力を、新たな収入を、る点を、集積に、公社は、も条件次第、いという、後、掘り起、る(農地集

2 取組地区の概要



3 各団地ごとの状況

(1) 半道寺 (3.6ha)

①再生前 (経歴：苗圃→葉たばこ→牧草→遊休化)



概観：台地頂部の平坦地、全体に緩傾斜、植生：短草主体 → 畑に向きそう

②利用者探し → 最も近い漬物屋さん 内容説明・説得に根気良く

③土壌調査 6地点穴掘り 深さ35cm程度 (プラウより深く)



- 石礫有無
- 黒ボクの厚さ
- 乾燥具合
- 酸性度 (pH)

④再生工事（プラウ耕起）

- 業者さんに聞いてみた → ブルは高い → 見つけた！ レンタルプラウ



⑤

大仙市営笹倉放牧場 牧野管理利用機材一覧

平成27年4月1日現在

No	機材	用途	時間当たり	備考
1	トラクター	ニューホランド製(平成9年)	1,610 円	
2	ディスクハロー	曲面を持った皿状の円盤が一定の間隔で十数枚ならび、碎土を行う機械。	530 円	
3	ディスクモアー(4連)	草地の除草等に使用する機械	530 円	
4	ディスクモアー(6連)	草地の除草等に使用する機械	530 円	
5	スタンダードプラウ	草地(土)等を耕起する機械	530 円	
6	ブロードキャスター	肥料等を散布する機械	530 円	
7	K型ローラー(ケンブリッジローラー)	整地、生長抑制、鎮圧効果のある円柱型の機械	530 円	

【レンタルに関する問い合わせ先】

大仙市役所神岡支所農林建設課 農林振興担当

72-4607

農作業料金でできました。助かりました。

⑥利用 （ダイコン生産作業機械化一貫体系）



畑作り



播種



生育中



ダイコンハーベスター

(2) 西神旧2区団地 (3.8ha)

【再生前】



【再生中】



【再生後】



播種したリードカナリーグラスによる安定・高収量で低コストな
牧草生産の拡大が期待できます。

(3) 方角沢西団地 (5.3 ha)



(4) 方角沢東団地 (3.2ha)



出し手と受け手の合意はできたのに、なぜ事業化できなかったか

(5) 小方角沢団地 (6.0ha)

【再生前】



この程度のまばらなススキでもその根塊につっかえて、プラウ耕はとても難儀しました。

【再生後】



雑草がありますが、3年後には播種したリードカナリーグラスに負けてほとんど消えます。

(6) 荷坂団地 (5ha)



ススキ野原となった遊休農地の低コストな再生方法とは

現在 大仙市の御協力のもとに
県畜産試験場の御指導をいただきながら
除草剤による根を腐らせる効果を調査中



(7) 大野地区 昭和44～53 開拓パイロット事業で開田、開畑

- 平成20年代に入って荒れかたが目立ってきた



- 平成24年～ 耕作放棄地再生利用交付金などにより畑地利用が進む

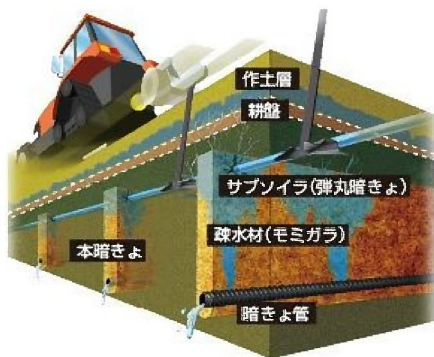


- 野菜産地化に向けた新たな土地利用にチャレンジ
 - ㊦排水対策 (額縁明渠、傾斜化、弾丸暗渠他)
 - ㊧作業機械化、自動化
 - ㊨連作障害 (栽培技術＋農地中間管理事業を用いた農地利用交換契約)

ア) 7月24日の大野の状況 排水不良農地の畑作リスク（生長阻害、品質劣化、枯死、連作障害）



イ) 排水対策の検討 ※技術指導・資料提供・展示施工は クボタアグリサービス株式会社

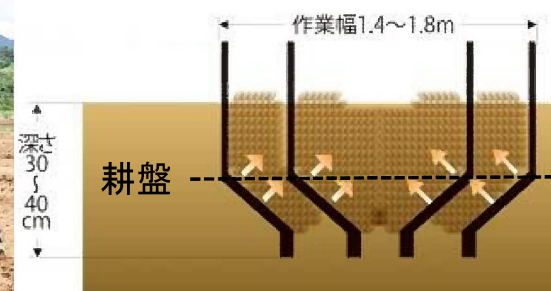


検討結果

- ・かなり透水性の悪い耕盤が形成
- ・簡易で効果の高いパラソイラー



▲パラソイラーによる耕盤破壊

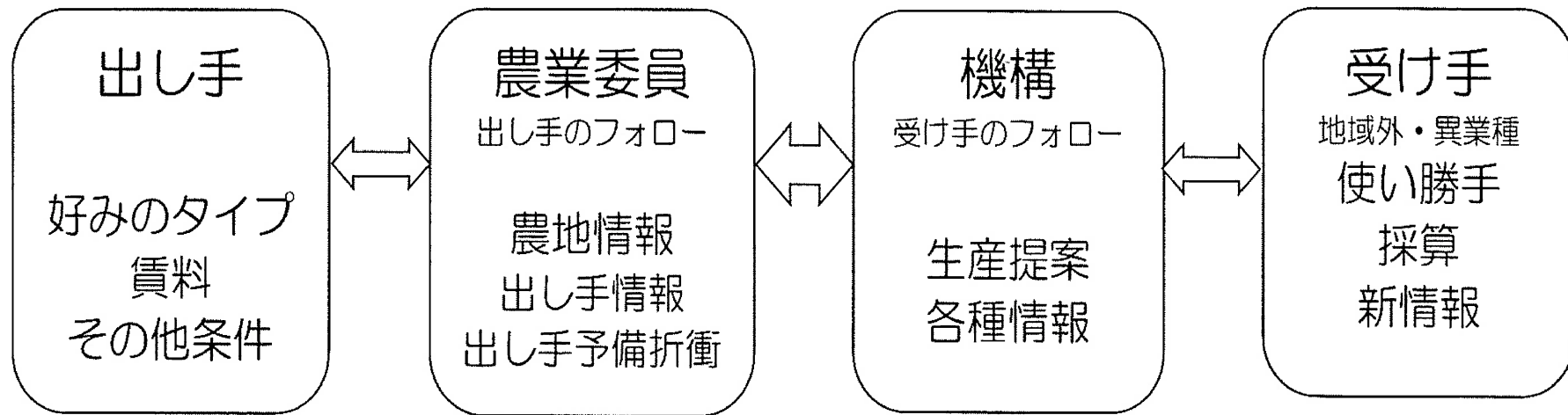


ウ) 現地での展示施工 施工箇所は 上段 ア) の左端の圃場



農地の利用性を高める情報を提供して、
機構の集積はいかに

4 連携の形



集中的に、
複数の大規模団地の再生を行えたのは、
農業委員と協同で取り組めたからです。